

登録コード	HM139800	開講年度	2026				
授業題目	分子医化学特別研究				担当教員	平塚 佐千枝 他	
英文授業名	Research Thesis in Biochemistry and Molecular Biology				副担当	富田 毅・加藤 真良・芦原 典宏	
単位数	10	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能を習得し、 使うことができる。		
(2)詳細 /Detailed information	発がんや転移に着目したがん研究を行い、その成果を学術論文として全世界に向けて発表することを目的とする。						
(3)授業の概要 /Overview of course	研究を遂行するための、分子生物学的、細胞生物学的、生化学的手法や動物実験法などの研究実践に必要な手法を指導する。計画の立案、実験結果の解釈法や論文執筆の指導も行う。						
(4)授業計画 /Course plan	平塚 佐千枝 抗転移細胞に着目し、実験動物を用いた解析を中心に、がん転移のメカニズムの解明を行う。 富田 毅 抗転移細胞に着目し、タンパク質や核酸の相互作用の解析を中心に、がん転移のメカニズムの解明を行う。 加藤 真良 タンパク質や核酸の動態に着目した解析を中心に、胃がんや膵がんの発がんのメカニズムの解明を行う。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	(a)成績評価の方法 研究に取り組む姿勢により評価する。授業到達の 6 0 %を合格とする。 (b)成績評価の基準 世界の最先端の情報を随時把握するように努め、年度毎に到達レベルを質疑応答および発表形式により評価する。上記の概念、知識、研究への還元への応用性を鑑みて、卓越している（秀）、「かなり上にある（優）」、「やや上にある（良）」、「水準にある(可)で成績を評価する。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	研究倫理教育の受講後に演習を始める。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	各担当教員に直接連絡						
(8)授業の形式 /Course format	実習形式で行う。受講者は毎週開催されるミーティングに参加し、研究の進捗状況についてディスカッションを行う。						